

第105回都市景観審議会

指定景観資源の 今後の指定方針に向けた意見交換

平成6年6月

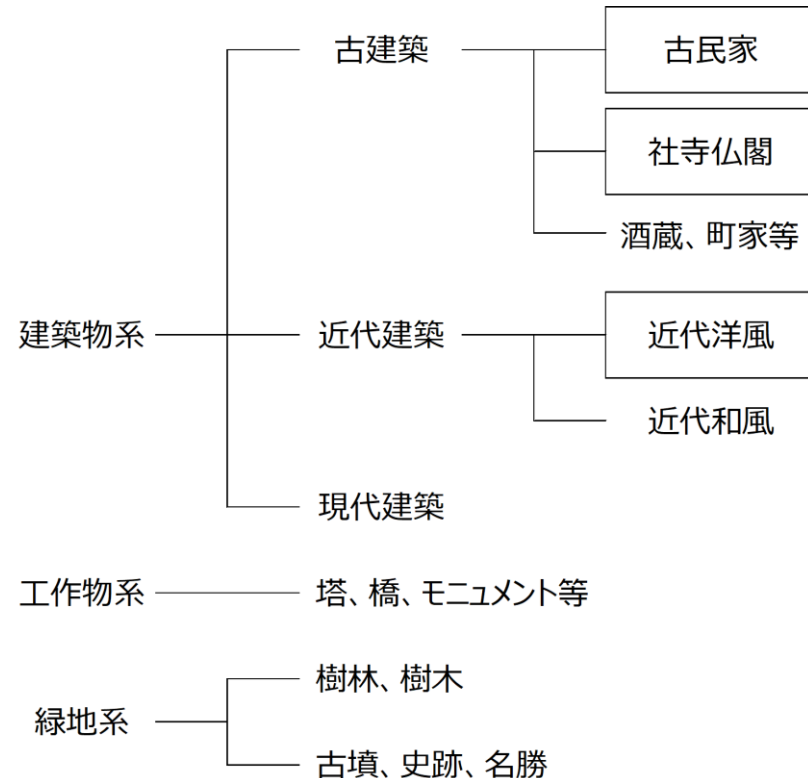
答申 景観形成重要建築物等の指定について

● 景観形成重要建築物等の基本的な考え方

(景観形成重要建築物等の対象)

歴史的又は建築的に価値が高く、
周辺地域の雰囲気の特徴づけているもので、
市民に愛され親しまれている重要な建築物等

(景観形成重要建築物等の種別)



● 景観評価の考え方

遠景・中景・近景からの景観評価
地域文化的評価など

● 指定対象候補の選定

近代洋風89件、古民家22件、
社寺仏閣24件

平成30年1月

答申 歴史的建築物の保全活用の方針について

- 歴史的建築物の景観的評価の考え方（茅葺民家、近代建築物等）
- 歴史的建築物の保全活用のための施策



近代建築物



茅葺民家

近年、国においても、「都市の個性の確立の促進」に向けて、文化財や歴史的建造物、古民家などの活用を促進する動きが加速



景観資源の保全・活用の取組みは今後より一層重要度を増す



「神戸らしい都市景観の保全・育成」だけでなく、その取組みを通じて、
「シビックプライドの醸成・まちへの愛着」に繋げる

都市の固有の魅力としての地域資源に着目するうえでの現状・課題

① 建築史的評価を重視している

歴史的建築物の保全活用を主眼とした評価方法のため、歴史が浅い建築物を評価しにくい

現代的な建築物（地域に身近で愛着のある建物）を評価できる考え方があってもよいのではないか？



【北野】Rose Garden（安藤建築）



【魚崎】菊正宗酒造記念館

<指定実績（茅葺民家を除く）>

明治後期（1890～1912）	10件
大正（1912～1926）	7件
昭和初期（1926～1945）	10件

<参考：建築史的評価>

	評価S	評価A	評価B	評価C
4-1 文化財としての評価 文化財としての評価がされているものは、その評価	重要文化財として登録されている	文化財として登録されている、又は、伝統的建造物として認定されている		
4-2 既存の評価 既存の調査、報告等での評価		既存の関連報告書等で高い評価を受けている	既存の関連報告書等で一定の評価を受けている	既存の関連報告書等にリストアップされている
4-3 時代的特色 再現することが容易でない、時代の特色の評価		様式・デザイン・構法・技法・素材など時代的特色がよく表現されている	様式・デザイン・構法・技法・素材など時代的特色が表現されている	
4-4 建築作品としての評価 著名な建築家設計したものの評価		著名な建築家の設計である		
4-5 その他の意匠・技術的価値 建築物そのものの意匠（デザイン）、施工技術などの評価		建築当時およびそれ以後に建築的に極めて高く評価され、長年維持されている	建築当時およびそれ以後に建築的に高く評価され、長年維持されている	
4-6 築年数 築年数に応じた稀少性の評価	4-1～5のいずれかが評価B以上で築年数が極めて長い	4-1～5のいずれかが評価B以上で築年数が長い、又は、評価C以上で築年数が極めて長い	4-1～5のいずれかが評価C以上で築年数がある程度長い	築年数がある程度長い
4-7 改変・保存状況	評価S～Cのいずれかに該当するが、改変されている、又は、保存状態が悪いものは、その度合いに応じて評価を下げる。特に、改変が著しい、又は、保存状態が極めて悪いものについては、評価Dとする。			

都市の固有の魅力としての地域資源に着目するうえでの現状・課題

②景観的評価で「遠景」を評価している

地域に根差した神戸らしさを評価するには、遠景の評価が必要か？

- * 景観資源として視えることは重要だが、遠くから視える必要があるか
- * 近くに訪れて気づく・感じる神戸らしさを重点的に評価してもよいのでは？



景観的評価は中近景の評価を重視し、遠景の評価は加点項目としてはどうか？

遠景の評価に代わる指標はあるか？
 (市民のアクセスのしやすさ、市民に開放された活用実態がある、など)

<参考：遠景の評価>

	評価A	評価B	評価C	評価D
1-1 ランドマーク性 建築物及びその敷地一団でランドマーク(目印)になっているかどうかの評価	広域的・都市的・地域的なランドマークとなり、良好な地域景観を形成している	広域的・都市的・地域的なランドマークとなっている	評価A、Bには該当しないが、幹線道路などから見える	幹線道路などから容易に見えない
1-2 特色のある地域景観 景観上の重点地区で、特色ある地域景観を形成しているかどうかの評価	特色のある地域景観を形成し、かつ、代表的である	特色のある地域景観を形成している		
1-3 都市軸景観 都市軸(主要幹線道路、河川、鉄道など)の景観を形成しているかどうかの評価	幹線道路などの都市軸景観を形成し、かつ、代表的である	幹線道路などの都市軸景観を形成している		

都市の固有の魅力としての地域資源に着目するうえでの現状・課題

③ 建築物を主な指定対象としている

「神戸らしい景観」を形成する要素は建築物だけではないため、
工作物や緑地等の指定等にも適応できる考え方を整理すべき？



工作物、緑地などの指定の考え方・重視するポイントは？
(視点場からの景観、視点対象としてのシンボル性など)



都市の固有の魅力としての地域資源に着目するうえでの現状・課題

① 建築史的評価を重視している

- ・ 歴史的建築物に重点を置き、その取組みをさらに深化させるべきか
- ・ 歴史的建築物に加え、現代的な建築物等も対象に含めて取り組んでいくべきか

② 景観的評価で「遠景」を評価している

- ・ 遠景の評価の位置づけの見直し（必須項目 or 加点項目）
- ・ 遠景の評価に代わる評価の視点

③ 建築物を主な指定対象としている

- ・ 工作物、緑地などの指定の考え方・重視するポイント